

# 南島原市ニュース

平成28年10月17日

報道関係各位

## 県内自治体初 アイデアソンを開催

南島原市では、若者の新規雇用創出やIT関連企業と地場産業とのマッチングによる新事業創出などを目的とし、合併後からIT企業の誘致活動を積極的に実施してきました。近年、併せてITエンジニアの誘致や育成等も求められています。

今回、東京などのITエンジニアの皆さんに農業・食品加工業・製麺業など、南島原市の「食」を視察・体験していただき、その後、IT技術者がチームでアイデアを出し合う「アイデアソン」を開催します。

### 記

- 期 間 10月21日(金)～23日(日)
  - ・1日目・2日目に市内の視察、体験、交流
  - ・3日目にアイデアソン及び成果発表・審査講評など
- 参集者 東京、大阪、福岡、熊本及び県内のIT開発技術者など約30名

※詳細は別添の通り。

※11月25日～27日の日程で同メンバーで、IT開発を行う「ハッカソン」を実施予定。



担当部署	企画振興部商工観光課	担当者	小関 克稔
直 通	050-3381-5032	E mail	shoukou@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは 	<a href="http://hack-msb.htus.jp/">http://hack-msb.htus.jp/</a>	検索ワード	いなかソン in 南島原
担当者 連絡先			

10月21日(金)～10月23日のスケジュール(予定)

※スケジュールは変更することがあります

10月21日(金)

- 体験・視察① 13時30分～15時  
農事組合法人サンエスファーム(住所:南島原市北有馬町甲1414-8)  
⇒最新鋭の椎茸生産工場の視察、椎茸収穫体験 など
- 体験・視察② 15時30分～17時  
有限会社ふるせ(住所:南島原市有家町蒲河341)  
⇒島原手延そうめんの生産工場視察、そうめんの大引き体験
- 交流会 18時～20時30分  
原城温泉「真砂」(住所:南島原市南有馬町丁133)  
⇒市長による歓迎セレモニー

10月22日(土)

- 体験・視察③ 9時05分～9時40分  
株式会社アリマート(住所:南島原市南有馬町乙478)  
⇒トマト生産農場の視察
- 体験・視察④ 9時45分～10時05分  
原城跡視察(住所:南島原市南有馬町)  
⇒世界遺産登録候補の構成遺産の一つである「原城跡」を視察
- 体験・視察⑤ 10時55分～11時35分  
なばやま茶屋ひかり(住所:南島原市西有家町見岳3303)  
⇒いちご農場及び農家カフェを視察
- まちあるき 12時50分～14時30分  
ありえ蔵めぐり会場(南島原市有家町)  
⇒酒蔵など古い蔵がある町を食歩するイベントの散策

合宿場所である エコパーク論所原に移動  
(住所:南島原市北有馬町丙4731-2)

- 体験・視察⑥ 15時30分～17時00分  
⇒さつまいものいもほり体験
- 生産者との意見交換会及び交流会(18時～19時30分)  
⇒地元の農業や製麺業などの地元生産者とアイデアソン参加者が意見交換

10月23日(日)

- アイデアソン(9時30分～12時30分) 時間は予定  
⇒チーム編成、アイデアのブラッシュアップ
- 成果発表、審査講評、表彰式、閉会(13時30分～15時)  
⇒各グループによる成果発表、3名の審査員による審査講評、市長からの表彰

## 説 明 資 料

### アイデアソンとは（デジタル大辞泉の解説）

idea（アイデア）＋marathon（マラソン）からの造語で、一定期間、特定のテーマについてチームごとにアイデアを出し合い、共同作業で問題解決を図る催し。期間はふつう数時間から数日程度。

### ハッカソンとは（デジタル大辞泉の解説）

hack（ハック）＋marathon（マラソン）からの造語で、ソフトウェア開発者が、一定期間集中的にプログラムの開発やサービスの考案などの共同作業を行い、その技能やアイデアを競う催し。期間はふつう数時間から数日程度。企業内で研修の一環として行われるほか、大手企業が広く外部から参加者を集めて自社の製品やサービスに役立つアイデアを競わせたり、ベンチャーキャピタルによる出資対象の選定に利用されたりする。

### 事業の目的

南島原市では、複数のITエンジニアを南島原市に招致し、「アイデアソン」で南島原市の課題についてITを活用した課題策を見出し、「ハッカソン」で、実際その活用ソフトを作製してもらおうイベントを企画しました。<sup>ア</sup>

目的としては、田舎に興味のある東京などの都市部のITエンジニアの方々が市内のITエンジニアの方々や生産者の方々と交流を深め、さらに南島原市内でIT開発を行いただくことにより、田舎でのIT開発に興味を持っていただき、IT事業の創業、IT企業の誘致及び定住促進を推進することです。また、アイデアを出し合う「アイデアソン」と、実際にプログラム開発を行う「ハッカソン」を連続で実施することにより、市内におかれている課題と、ITを活用したその解決策をより具体的に見出すことが期待できます。